

古川橋本通商店街プロジェクト基本計画（案）～概要版～

01 現況及び課題とポテンシャルの整理

計画地は京阪古川橋駅北口より続く幸福南北線のうち商店街となっている約 300m。沿道では「門真市幸福東土地区画整理事業」が施工中。

課題

- ・自転車の通行量が多く、歩行者の安全が確保できていない
- ・北側の住宅地と、京阪古川橋駅及び駅南側をつなぐ通過動線となっており、滞留する人が少ない
- ・店舗から専用住宅への用途転換や、幸福東土地区画整理事業が実施されていることにより、商店街としての店舗の連続性が失われている



歩行者のすぐそばを自転車が通過 沿道は一時的に空き地となっている 地域住民による街灯へのプランターの設置

機会とポテンシャル

- ・旧第一中学校跡地活用事業（門真市立文化創造図書館 KADOMADO やタワーマンションの建設等）により、**周辺住民や来街者が増加する見込み**。また、**一部の道路幅員が広がる**
- ・計画区域は滞在性向上区域に指定されており、ウォーカブル事業が進められているほか、住宅市街地総合整備事業も進められており、**周辺地域と連携し、統一感を持たせたまちづくりが期待される**
- ・通過動線となっているため、**お客さんとなりうる歩行者・自転車の通行量が多い**
- ・地域住民や団体による、**今後も生かしたい道路の活用状況・取組がある**
- ・自主的、自発的に**商店街の魅力づくりを生み出す方法を検討する必要がある**

02 社会実験

古川橋本通商店街のウォーカブルな環境づくりについて検証することを目的に実施した。



道路上へのベンチ付き自転車スタンドの設置 道路拡幅予定地を利用したマルシェスタンドの設置 商店街立地店舗の前面道路利用

- ＜効果検証結果＞
- 人通りが増え、通行可能な幅員が限られると、自転車のスピードが抑制された
 - 滞留空間や軒先利用のニーズあり
 - 店舗が増え・多様化することで魅力向上 & 歩行者通行量が増える

⇒「安全に通行できる環境づくり」と「賑わいや居心地の良い環境づくり」の一体的な推進が必要

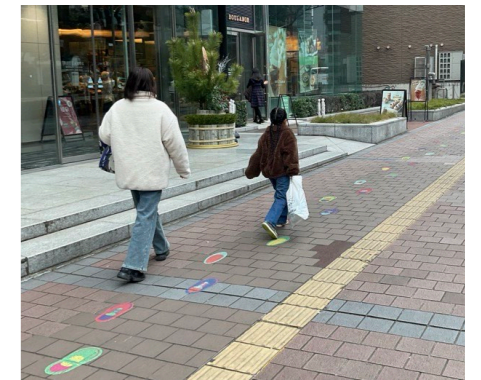
03 整備コンセプト

歩けば歩くほど、“PLAY”が見つかる商店街 ～通過動線から滞留・回遊空間への転換～

PLAYFUL（遊び心のある）なまちを目指し、交通安全性を確保しながら、商店街に“PLAY”をはぐくむ場や機会を創出し、歩行者が滞在・回遊したくなる環境をつくる。店主もお客さんも誰もが居心地よく、ウォーカブルな商店街を目指す。

04 整備方針と実現に向けた方策

- 整備方針1** 歩行者も自転車も安全に通行できる道路空間づくり
方策① 歩行者誘導ゾーンの設定
- 整備方針2** 古川橋らしい遊び心あるコンテンツを育む空間づくり
方策① 通りを楽しめ、参加できるデザインの導入
- 整備方針3** 使いたくなる道路空間づくり
方策① ニーズに対応し柔軟に活用できる道路空間の形成
方策② 路面舗装の工夫による道路空間の活用促進
- 整備方針4** グランドレベルのアクティブユースの促進
方策① 地区計画によるウォーカブルな環境の促進



街路のグラフィックアートのイメージ

05 整備計画と活用イメージ

道路協力団体制度や道路占用許可の特例制度等の活用を促進し、にぎわいを作る

●歩行者と自転車を分離する舗装

- ・両側に「歩行者誘導ゾーン」、中央に「自転車誘導ゾーン」を設定し、歩行者・自転車の交通をゆるやかに分離
- ・幸福東土地区画整理事業エリア内の舗装材と色味を合わせながら、自然な風合いの同系統の色でそろえ、テクスチャーの違いでゾーンを分離する



●PLAYFUL グラフィックアートの導入

- ・道路の路面に、誰もが参加でき、楽しめる仕掛けをもったグラフィックアートを整備する

●道路空間の活用を促す舗装デザイン

- ・歩行者誘導ゾーンにおける、イベント時の軒先（前面道路）利用など、民地からはみ出して利用する際に、インターロッキングブロック舗装のデザインや数で、距離がわかりやすいよう設える

06 整備スケジュール

令和5年5月に「古川橋駅周辺地区まちなかウォーカブル推進基本構想」を策定。同構想に基づき、令和5年11月に社会実験「PLAY FURUKAWABASHI Vol.1」を実施した。その結果を受け、本計画をとりまとめた。今後は、エリアのステークホルダーとも連携し、地域ニーズ等を確認しながら、令和9年度に実施設計、令和10年度の工事を目指す。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	社会実験「PLAY FURUKAWABASHI Vol.1」の実施		「古川橋本通商店街プロジェクト基本計画」の策定※		実施設計（予定）	工事（予定）
				エリアのステークホルダーとも連携し、地域ニーズ等を確認しながら、実施設計を目指す		

※古川橋駅周辺地区まちなかウォーカブル推進基本構想に示された4つのプロジェクトと合わせて策定